

平成29年度ICT利用による教育改善研究発表会
受賞者決定

1. 本発表会の趣旨

本発表会は、文部科学省の後援の下、全国の国公立大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT活用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上に寄与することを目的としている。優れた発表に対しては、文部科学大臣賞（最優秀賞）、協会賞（優秀賞）、奨励賞を授与し、その教育業績を顕彰するとともに、本協会ホームページに掲載、公開している。平成5年度より24回目となり、これまでに文部科学大臣賞5件、協会賞32件、奨励賞47件、佳作4点を顕彰してきた。

2. 選考方法および結果

29年度のICT利用による教育改善研究発表会は、平成29年8月9日に東京理科大学森戸記念館で開催し、人文、社会、理工、情報、医療系等の分野から40件の発表があった。選考は、「ICT利用による教育改善の目的・目標が明瞭になっていること」「ICTを利用した教育改善の内容と方法が明瞭になっていること」「教育改善の効果が示されていること」を基準に行い、授賞選考委員会により6件の研究を選考した。その後、9月23日に行った2次選考の結果、「奨励賞」1件の授賞が決定した。表彰式は、11月27日に本協会の第20回臨時総会の冒頭に行い、文部科学省高等教育局専門教育課の山路課長補佐による来賓挨拶、本協会向殿会長による発表会の概要説明と本年度結果報告の後、奨励賞の表彰楯の授与を行った。受賞者は次の通り。

奨励賞

■ 「TEDを素材としたアクティブラーニングで
Global Issuesを学ばせる」

<授賞理由>

本研究は、平和・人権・環境など地球規模の問題への理解を深めるため、英語動画スピーチのTEDを素材にして事前視聴による反転授業を行い、PBLを行う中でLMSを活用して事前学習と事後省察をシステム化・共有化することで、他の学生の英語表現や分析・思考に接することを通じて、新しい知見に気づく機会を提供する実践例である。



創価大学
法学部准教授
前田 幸男氏



左から文部科学省専門教育課 山路課長補佐、
受賞者の創価大学 前田氏、本協会 向殿会長



本協会 向殿会長



文部科学省 山路課長補佐